大牟田市立大牟田中央小学校

1 本校のESDの特徴

教科等の学習指導を進める中で「持続可能な社会づくりに向けての課題を見出し、それらを解決するために必要な能力・態度を身に付ける」ことを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい 資質や価値観を養う。

- ○総合的な学習の時間…「持続可能な社会づくり」「ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・ 態度」の育成を図り、「つながりの視点」をもった学習構成を行う。
- ○教科…「生きる力」の構成要素(思考力・判断力・表現力,課題発見能力・問題解決能力,自立心・協調性・感動する心)と関連づけて,ESDの視点(7つの能力・態度)をもって教科指導を行い能力・態度の育成を図る。
- ○道徳…持続可能な社会づくりの要素の価値観や概念を道徳的価値と関連付け道徳的実践力を高める。
- ○外国語活動…外国語活動を通して、外国語活動のねらいである「異文化理解」や「コミュニケーション能力」の国際感覚を養うと共に、ESDの視点である「つながりを尊重する態度」や「コミュニケーションを行う力」を育成する。
- ○特別活動…ESDの視点である「他者と協力する態度」「つながりを尊重する態度」「責任を重んじる態度」を特別活動の「学校行事」「学級活動」「児童会活動」「クラブ活動」に関連させて、子ども 一人一人の豊かな人間性を育てる。
- ○家庭・地域社会…学校での体験を生かし、ESDの視点を地域社会へ発揮できる指導の育成を図る。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

(抜粋:1・2年…生活科,3~6年…総合的な学習の時間)

- ○1年生…「いちねんせいになったよ」「ひとつぶのたねから」「がっこうのまわりをあるいてみよう」 「だいすきななつ」「ひろがれえがお」「たのしもうあき」「むかしのあそびをたのしもう」
- ○2年生…「レッツゴー町たんけん」「ぐんぐんのびろ」「町に夏がやってきた」「あそび大好きあつまれ」「もっと知りたいな町のこと」「町のすてきを伝えよう」「みんな大きくなったよね」「お礼の気持ちを伝えよう」
- ○3年生…「安全マップづくり」「よりよいくらしについて考えよう」
- ○4年生…「延命公園ウォッチング(春~夏)(秋~冬)」「二分の一成人式」
- ○5年生…「見つめよう石炭の町大牟田~羅臼小学校との交流~」「米とわたしたちの生活」「最上級 生に向けてステップアップ」
- ○6年生…「近代化産業遺産(世界遺産)」「考えよう!わたしたちの未来(ユニバーサル社会)(平和)」 「卒業に向けて」

3 特徴的な活動事例

<5年生 総合的な学習の時間 単元名「見つめよう石炭の町大牟田~羅臼小学校との交流~」>

(1) 目標

・「石炭の町」といわれた大牟田市の名所・建物・歴史や, 交流している羅臼小学校がある北海道の世界遺産「知床」 に関心を持ち,自分が調べたい課題を持つことが出来る。

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- ・石炭や大牟田市の名所・建物・歴史等について調べると共に、 多様な方法でまとめ、交流している北海道の羅臼小学校に 発信することが出来る。 【学習方法に関すること】
- ・石炭や大牟田市の名所・建物・歴史等に関心を持ち、自分の 追求方法や追求内容の深まりを振り返ったり、自分たちの 地域のよさに気付き、郷土を愛する気持ちを持ったりする ことが出来る。 【自分自身に関すること】

(2) 実践の展開

①課題設定

・石炭・大牟田市の名所・建物・歴史等や交流する羅臼小学 校に関心を持ち、自分の課題を持つ。

②調べる

・自分の課題解決のために石炭産業科学館や市役所など現地 を訪れて情報を収集したり、くわしい方にインタビューを したりして調べる。また、交流している羅臼小学校がある 北海道知床について調べる。

③まとめる,発信する

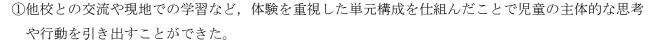
- ・同じ課題でグルーピングし、収集した情報を分析して、大 牟田市の石炭や名所・建物・歴史等のよさや価値について 模造紙にまとめ、発表会を行い、情報を共有する。
- ・また,調べたことを冊子にまとめ,交流している北海道の 羅臼小学校に発信する。

【児童の感想】

羅臼小学校と交流してみて、大牟田には自慢できるところがたくさんあることがわかりました。これからもっと多くの人々に大牟田のよさを伝えていきたいです。

4 本年度の成果と課題

○成果



②校内にESDコーナーを設置したり、表現発表会で各学年のESDの取組を掲示したりしたことで 保護者や地域への啓発ができた。

○課題

・保護者や地域へ発信する場と方法のさらなる工夫。



羅臼小学校へ大牟田を紹介



電子黒板でグループごとの発表



冊子にまとめ羅臼小へ発信



羅臼小学校からの特産品紹介